



未来へつなかれ 養老町 第10回

養老町で活躍する団体の活動内容等をご紹介します。

★ 社会福祉法人 養老町社会福祉協議会 ★

地域福祉活動のよき理解者・担い手『福祉推進員』

養老町社会福祉協議会（略称：養老町社協）は、養老町の地域福祉活動を推進することを目的とした民間の組織です。

地域で暮らす皆さんのほか、行政、民生児童委員、福祉諸団体、ボランティアなど幅広い関係者との連携・協働のもと、地域ネットワークづくり、在宅サービス、ボランティア活動などの支援を通して、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支え合い、自分らしく安心して生活することができる「ぬくもりのあるまち」を目指して事業を推進しています。

令和4年度には、民生児童委員の補助的な役割を担っていただく「福祉推進員」制度を創設しました。

この福祉推進員は、地域からの推薦を受け町社協会長が委嘱するもので、これまでに笠郷・日吉・池辺の3地区で設置されています。

活動は、気がかりな人の見守り、高齢者が気軽に集まり楽しく写真く過ごせる場である「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げや運営支援のほか、友愛訪問や敬老会等の地域福祉活動への参加・協力などです。

町内の全地域で福祉推進員を設置し、福祉のまちづくりを推進していきましょう。



「日吉いきいきサロンあじさい」の様子



代表者 養老町社会福祉協議会 会長 森川 一俊
養老町高田79番地2（養老町老人福祉センター内） TEL.0584-34-3504

子どもの声 第11回

大人のみならず、町内の子どもたちにも議会を身近に感じてもらい、興味を持って頂けるよう、子どもたちの素直な意見が聞けるコーナーです。今回は町内小学6年生にお願いしました。

「バリアフリーで心地よく」

多くの学校では、総合の時間に福祉の勉強をしています。その中でもバリアフリーに興味を持ちました。多くの学校には、スロープや手すり、点字ブロックなどのバリアフリー設備があります。このような設備があることで、車いすの人や足をけがした人でも段差や階段を上がることができます。養老町でもどんなバリアフリーがあるか調べたり、実際に探したりしました。養老鉄道にはスロープが全駅にあり、優先席が各車両にありました。また養老町役場やスーパーなどの公共施設には、エレベーターや点字ブロック、点字の案内板などがありました。でも歩道や一部の施設には点字ブロックがなかったり、道がでこぼこになったりしていました。道を直したり、バリアフリー設備を増やしたりすることで、多くの大好きな養老町がさらに住みやすく心地よい町になると思います。

(養北小 S・S)

議会だより編集特別委員会

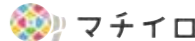
委員長 清水 由美子 副委員長 大橋 みち子
委員 松永 民夫 委員 吉田 太郎 委員 岩永 義仁



議会QRコード



スマホでよろろう議会だよりが読めます



高齢・障害・若年等参加のまちづくり

よろろう

議会だより

令和8年 2026.5.1
No.172

3月 定例会

令和6年度開催の薩摩義士慰霊祭の様子

（み）
身を挺して
難工事の
踊り代表
りて表す
感謝の心

定例会での主な質疑	2
常任委員会報告	3
新年度予算 予算特別委員会報告	4
こんなことが決まりました	9
町の考えを問う（4議員が一般質問）	10
議会ニュース	13
あれから「橋爪大橋開通」は怎么样了んやあ〜	13
未来へつなかれ養老町（第10回）	14
子どもの声（第11回）	14